

基本方針3 国内外で活躍できるアスリートの育成等と競技力の向上

本県のスポーツ選手が、オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際大会や全国大会等において活躍できるよう、次世代を担うアスリートの発掘やトップアスリートの育成・強化と競技力の向上を目指します。

<施策展開の方向>

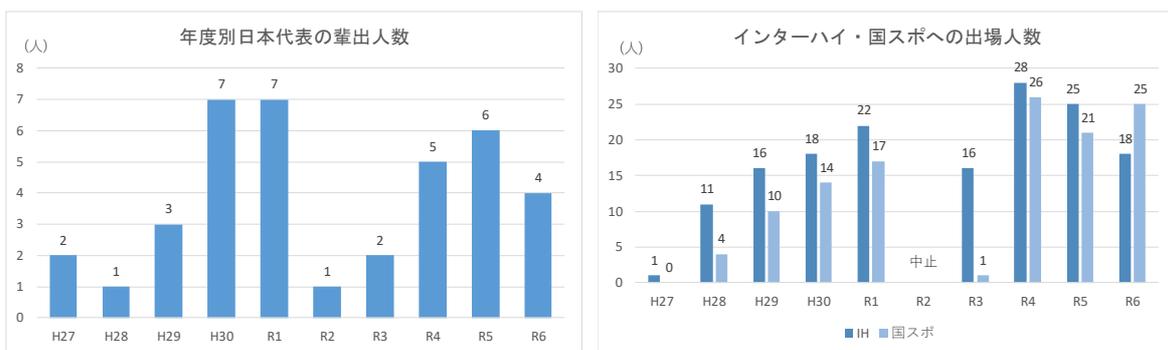
(1) 次世代を担うアスリートの発掘・育成

【現状と課題】

- 県では、オリンピック等のトップレベルで活躍するアスリートの輩出を目指し、平成21年度から「山形県スポーツタレント発掘事業（YAMAGATAドリームキッズ）」を展開してきました。在籍生・修了生の中から、日本代表・年代別日本代表に選出される選手や、国際大会や全国大会で活躍する選手が輩出されるなど着実に成果が上がってきています。

引き続き、オリンピックをはじめとした国際大会等で活躍するトップ選手を輩出することや本県の競技力の維持・向上を目指し、次世代を担うアスリートの発掘・育成に取り組む必要があります。

これまでのYAMAGATAドリームキッズの成果



出典：県観光文化スポーツ部調べ

<施策>

① 「YAMAGATAドリームキッズ」の発掘・育成

ア 「山形県スポーツタレント発掘事業」により、優れた資質を有する子どもを「YAMAGATAドリームキッズ」として発掘するとともに、競技団体や地域クラブ、国による発掘育成事業と連携を図りながら、一貫した指導体制に基づく育成・

強化プログラムを実施することにより、世界に羽ばたくアスリートを育成します。

イ YAMAGATAドリームキッズを育成・強化するためのプログラムについて、競技団体等における活用を促進するとともに、地域におけるジュニアアスリート育成に関わるスポーツ指導者間の連携を促進します。

[主な取組みの例]

- YAMAGATAドリームキッズの認定と一貫した指導による育成・強化
- 日本スポーツ振興センター、中央競技団体、県競技団体等と連携した各種育成・強化プログラムの展開
- 国による発掘育成事業との連携による種目適性評価の充実
- SNS等を活用したYAMAGATAドリームキッズプログラムの情報や魅力の発信
- YAMAGATAドリームキッズの各種プログラムにおける中央競技団体や県競技団体との連携による、各競技団体でのジュニア選手の発掘・育成の推進



YAMAGATA ドリームキッズの強化・育成プログラム

② ジュニア期における一貫した指導体制に基づく育成・強化

ア 「山形県競技スポーツ強化推進プロジェクト会議」等において、ジュニア期における一貫指導体制の基本方針や、カヌーなどこれまで本県が得意としてきた競技の再構築、新たな得意競技の育成などの具体的な強化策について検討し、競技力向上の基盤強化を図ります。

イ ジュニア期における競技力向上を図るため、競技団体や地域クラブが主体的に一貫指導に取り組む体制の構築や、各団体が策定する一貫指導プログラムの普及・実践のための支援を行うとともに、山形県スポーツタレント発掘事業と連携しながら、ジュニアアスリートの発掘・育成システムを構築します。

ウ これまで開催された全国大会等における競技団体や学校体育団体との連携により培われた高い競技レベルやノウハウの継承、地域のプロスポーツチーム等との交流・連携により、競技力の向上を図ります。

エ 各種広報媒体（SNS等含む）を通して地元のジュニアアスリートを積極的に紹介、応援することなどにより、選手の意欲向上を図り、地域全体で将来のトップアスリートを育成します。

オ スポーツ少年団や中学校体育連盟・高等学校体育連盟等との連携を図りながら、トップチームで活躍できる選手の輩出に向けて、有望選手の発掘・育成を組織的・継続的に推進します。

[主な取組みの例]

- 県中学校体育連盟及び県高等学校体育連盟に対する強化費等の支援
- 山形県競技スポーツ強化推進プロジェクト会議の開催及び競技団体等と連携した課題等の検討
- 県内競技団体と協力したジュニアアスリートの発掘・育成システムの継続的な推進
- 中・高生の一貫強化指導体制の確立を目指す競技団体への支援
- スポーツ少年団や中学校体育連盟・高等学校体育連盟及び競技団体と連携した有望選手の発掘・育成
- モンテディオ山形アカデミー運営への支援による有望選手の県内育成
- SNS等を活用した本県アスリートに関する積極的な情報発信や、報道機関に対する本県ジュニアアスリートに関する情報提供の実施

「山形県スポーツタレント発掘事業（YAMAGATAドリームキッズ）」

県では、平成21年度から、オリンピックや国際大会などトップレベルで活躍する選手の輩出等を目指して、関係する競技団体等と連携しながら、5年間のプログラムにより「YAMAGATAドリームキッズ」の育成に取り組んでいます。

毎年度、「YAMAGATAドリームキッズ」として、約200～300名程度の応募者の中から30名が選考され、現在、県内の小学3・4年生から中学3年生までの児童・生徒140名（令和6年4月）が、基礎的運動能力の向上や栄養学等の学びの取組みを進めています。こうした県内での継続的な育成・指導の結果、これまでにYAMAGATAドリームキッズ出身者が世界的な大会で活躍したり、日本代表・年代別日本代表として選出されたりするなどの成果が出ており、今後さらなる活躍が期待されます。



Instagramでも活動内容を発信しています

Instagram

ログイン

登録する



yamagata.dreamkids

フォロー

投稿49件

フォロワー432人

フォロー中100人

YAMAGATAドリームキッズ
山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会
YAMAGATAドリームキッズ公式Instagramです。
活動の様子や大会結果などを掲載します。
@ y-dreamkids.jp

📁 投稿

🎞 リール

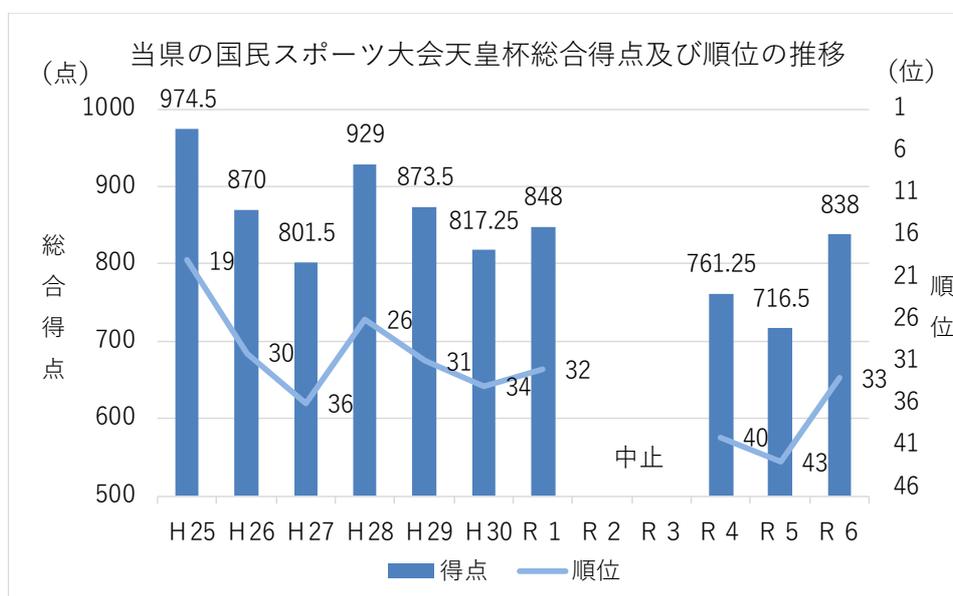
👤 タグ付けされている人

<施策展開の方向>

(2) トップアスリートの育成・強化

【現状と課題】

- 本県にゆかりのある選手の世界や全国の檜舞台での活躍は、県民に元気や感動を与えるとともに山形の活力の国内外への発信に寄与するものであり、競技団体等と連携して、トップアスリートの発掘・育成・強化を行うことが重要です。
- 近年、本県の国民スポーツ大会天皇杯の順位は30位～40位台となっており、本県の総合的な競技力の向上を目指す計画的・継続的な取組みが重要です。競技者一人ひとりが持つポテンシャルを最大限に引き出し、成長させるため、優れた指導者による指導や適切な指導の下でトレーニングを行う必要があります。



出典：県観光文化スポーツ部調べ

- 将来にわたる競技力の維持・向上には、現役世代を育成するとともに、育成した世代が次代を担う指導者となることも重要です。現役アスリートが引退後も競技に関わり続けるためのサポート体制を整え、指導者としての基礎的な知識や技術を習得する機会を提供すること等により、トップアスリート輩出と指導者育成の持続可能なサイクルを構築する必要があります。
- 現在、プロスポーツをはじめとして、戦術の改善や選手のパフォーマンス向上にデータやデジタル技術が積極的に活用されており、スポーツの現場において、医・科学的見地からのトレーニングやコンディショニング指導等の必要性が大きくなっています。

- リモート技術の活用により、距離の制約を超えて各地の専門家からの質の高い指導、助言にアクセスすることができる環境が整ってきています。新たな技術の活用方法や有効性を検証するとともに、導入可能性の検討や、普及・啓発を図る必要があります。

<施策>

① 国際大会や全国大会等に向けた戦略的支援の充実・強化

- ア オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際大会での活躍やメダル獲得に向け、有望な選手及び競技団体への支援等、重点的かつ集中的な強化を図ります。
- イ 国民スポーツ大会において順位の上昇を目指し、本県の得意競技等の強化に加え、新たに上位入賞可能な競技を増やすなど効果的な強化を図り、競技力の向上に努めます。
- ウ スポーツ強豪国の強化選手等との強化合宿や交流試合の実施に努めるとともに、国内外の優秀な指導者を招へいし、ジュニア期の競技者への指導を行うなどの交流を図ります。
- エ 障がい者スポーツの競技力向上のため、スポーツ団体及び県内大学等との連携による選手支援を図るとともに、国際大会、全国大会への出場等を支援します。

[主な取組みの例]

- 県内競技団体が行う競技力向上のための取組みに対する継続的な支援
- オリンピアン招へい等による県内トップアスリートへの講演会や研修会等の実施
- パラリンピック又はデフリンピックを目指す選手への支援
- 国民スポーツ大会での天皇杯順位上昇の鍵となる競技団体が行う競技力強化に対する重点的な支援
- 国内外の優秀指導者の招へいやオンラインでの講習会の推進
- 全国大会等を目指す選手に対する専門家（障がい者スポーツトレーナー）による講習会の実施
- 全国障害者スポーツ大会出場選手を対象とした強化練習会の実施



上：国スポにおける本県選手団

下：国スポ山形県選手団結団式（写真提供：県スポーツ協会）

② トップアスリート育成に向けた優れた指導者の養成・確保

ア オリンピックや国際大会、国民スポーツ大会や各種全国大会で活躍する選手を育成することができる、次代を担う指導者の計画的な養成・確保を図ります。

イ 若手指導者が全国トップレベルのチーム・指導者のもとで、技術・戦術・戦略等の指導方法を習得するための研修へ支援を行うなど、若手指導者の育成に向けた取組みの充実を図ります。

ウ 県内指導者の指導力向上を図るため、山形県スポーツタレント発掘事業等を活用しトップアスリートやコーチ、中央競技団体の指導者を招へいた際に、競技団体や総合型クラブ等に対して積極的な情報提供に努めます。

エ 障がい者スポーツの競技力向上のため、障がい者スポーツの指導者の育成・確保に努めます。

オ 優れた実績や技能を持つアスリートを、学校の運動部活動や各競技団体等における中核的な指導者として確保するように努めます。

[主な取組みの例]

- 県外・海外の優秀指導者を招へいた研修会の開催などによる若手指導者の指導力・競技力向上の支援
- 県内の指導者やトレーナー等が研修を受ける機会の提供

- 障がい者スポーツにおける指導者（初級）研修経費及び上・中級指導者等の育成講座受講経費の支援
- 県スポーツ協会の指導者研修会等の参加者に対する「リーダーバンクやまがた」への登録呼びかけによる指導者の確保
- 関係団体等と連携したアスリートの県内回帰方策の検討



スポーツ指導者研修会
 (写真提供：山形県スポーツ協会)

③ スポーツ医・科学やデジタル技術の有効活用

- ア アスリートやチームが最大限のパフォーマンスを全国大会等で発揮できるサポート体制を構築します。
- イ 先進デジタル技術やデータ活用の普及・啓発、活用促進により競技力向上を図ります。

[主な取組みの例]

- 医・科学的サポートを行うトレーナーの各種全国大会への派遣の支援
- コーチングスタッフ会議等における先進デジタル技術（IP カメラ¹⁶や動作分析ソフト等）の有効性の紹介

¹⁶ 個々にインターネットに接続できる機能を備えたカメラ。ネットワークカメラ。

「蔵王坊平アスリートヴィレッジ」

蔵王坊平アスリートヴィレッジは、標高1,000mにあるナショナルトレーニングセンター（NTC）高地トレーニング強化拠点施設であり、特別なトレーニングの基地として国内外のスポーツ関係者に認識されています。トレーニング施設はもちろん、宿泊施設、リハビリ施設も充実し、トップアスリートから市民スポーツまで幅広く利用でき、各種トレーニングに必要な条件が揃う場所です。また、国内外から多数のアスリート及びその関係者が来訪することなどにより、地域の活性化にもつながっています。



左上：全景、右上：トレーニング室、左下：クロスカントリーコース、
右下：坊平リハビリ温泉 高原ゆ （写真提供：上山市）